

【2016 年度】

日時:平成 29 年 2 月 25 日(土) 午後 2 時 30 分～4 時

場所:四條畷学園短期大学 2 階 202 教室

テーマ:「ディープ・アクティブラーニングの導入背景と具体的実践法」

講師:家島 明彦 大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 講師

キャリアパスライフ支援センター キャリア支援ユニット 兼任

(キャリア・カウンセラー/ガイダンスカウンセラー/認定心理士)

当日は、「非常勤講師の先生方との教育懇談会」を 1 時から開催、その後非常勤講師の方々等 41 名の参加がありました。内容は、講義と演習形式で行われ、グループワークでは楽しそうに意見交換をしながら多様な AL 技法等を学べた研修会になったようです。

FD 研修会アンケート集計結果(回収数 41 件)

項目内容	平均
1. 研修会の内容は分かりやすかったですか？	4.56
2. 今後、A&L をとり入れてみたいと思いますか？	4.54
3. 研修会全体について満足度をお答え下さい。また、ご感想やご意見などございましたらご記入ください。	4.53

項目 1-3: (そう思わない 1-2-3-4-5 そう思う)

【感想・意見の一部抜粋】

- ・これからの授業取り組みについて参考になった。今までの仕方を再度考え直したい。
- ・用意されたプリント、パワーポ、タイマー何もかもアクティブラーニングでした。
- ・色々な AL 技法があるのを学べました。
- ・毎年、学びの機会がほしいです。具体的に先生がどの様に使われているのか、どんな効果を得られたのかも知りたい。
- ・講義中にうまく短時間でも取り入れればいいのだと安心しました。
- ・できればシラバス提出前にこの研修会に参加したかった。
- ・グループワークがよかったです。
- ・私は 15 回の授業の中で、けっこういろいろな方法を使用していました。それも確認できました。
- ・時間的に短すぎる。日常的に意見交換が少なく、もう少し横の連絡が取れるような空気、環境があればと思います。
- ・基礎力がない学生が多いので、学生の現状からは基礎力強化を目標にしながら、卒業を自分か

ら学びたいと思った時に役立つことを教えていきたいと考えています。

- ・日頃の自己の教育を振り返る…他の教員と共有してディスカッションする…必要だと気づいていながらもできていないのが現状です。時間を決めて集中して、今回の体験を日常に継続して取り組んでいくことが必要であり、しなければならないと思います。
- ・学生のフィードバックシートを見ると楽しいだけで終わってしまうことも多く反省していた。
- ・“学び方を学ぶこと”と、アクティブラーニングとの関連について考えさせられました。
- ・タイマーを使う方法、面白いです。使わせていただきます。講義と演習のバランスがよかったです。演習のやり方がうまいです。参考になりました。